

施設の概要

ごみ処理施設

1 はだのクリーンセンター

所在地 秦野市曾屋4624番地
敷地面積 35,989.34㎡ (登記地積)

はだのクリーンセンターは、秦野市及び伊勢原市から排出された可燃（燃やす）ごみを200t/日炉（100t/日炉×2基）の焼却施設で燃やして処理しています。焼却の際に発生した熱を回収して、施設内の給湯や最大3,820キロワットの発電に利用しています。発電した電力は、施設内すべての電気を賄い、余った電気は電力会社に売電しています。

また、煙突から排出される排ガスについては、成分ごとに法令基準値よりも厳しい自主規制値を設け、その状況を正門横に設置した電光表示盤により、誰もがいつでも確認できるようにしています。

施設の運転や維持管理の業務は、包括的な委託により行っています。

施設整備状況

規模	型式	事業費(千円)	整備内容	建設年月日	設計・施工
200t/日	ストーカ式 (連続炉)	9,406,551	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 ・ 地上6階地下2階 ・ 延床面積 12,339.76m² ・ ごみピット容量 8,140m³ ・ 可燃性粗大ごみ切断機(2基) ・ 蒸気タービン発電設備 (発電出力 3,820kW) 	H22.2.26～ H25.1.30	日立造船(株)

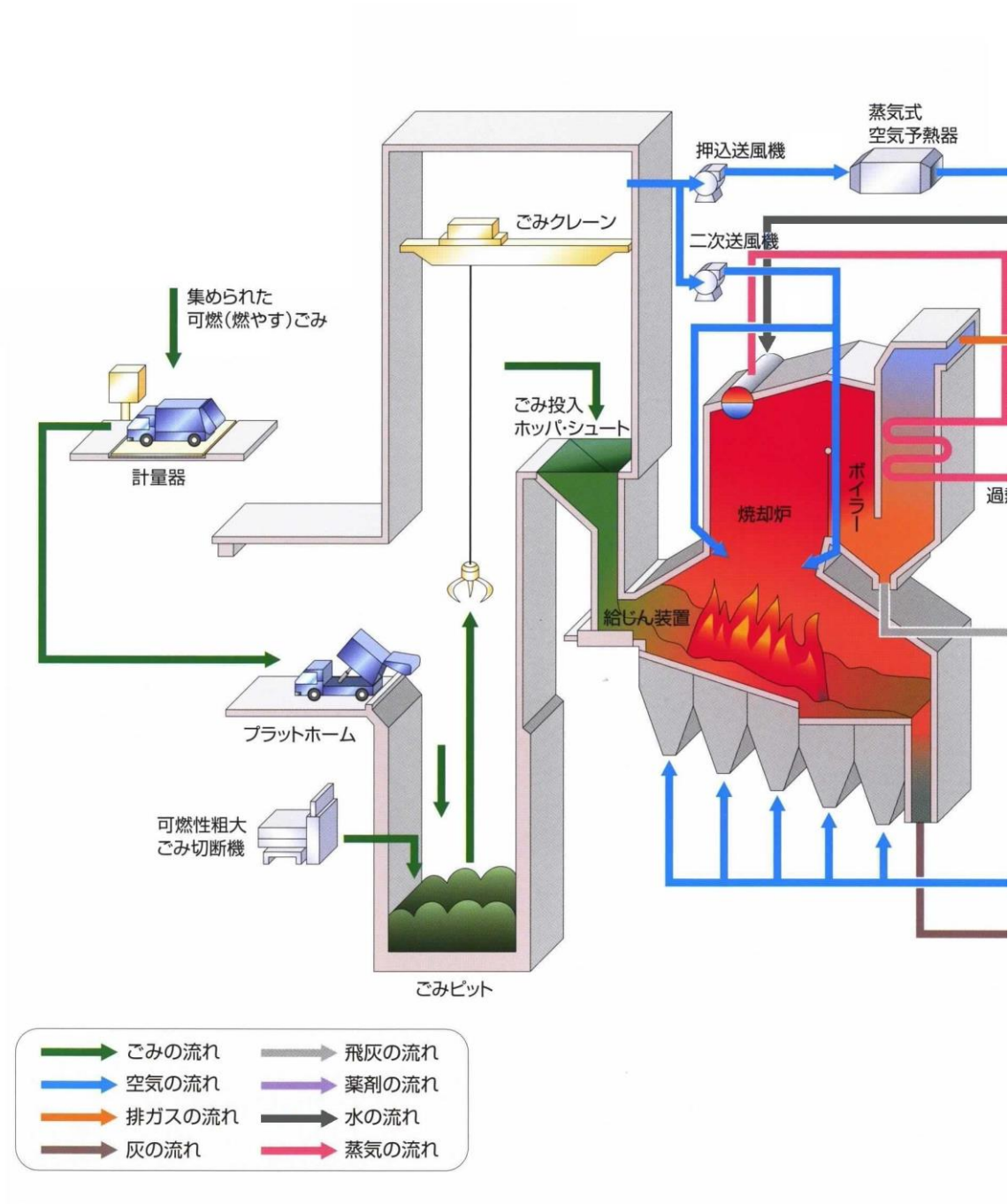
はだのクリーンセンター

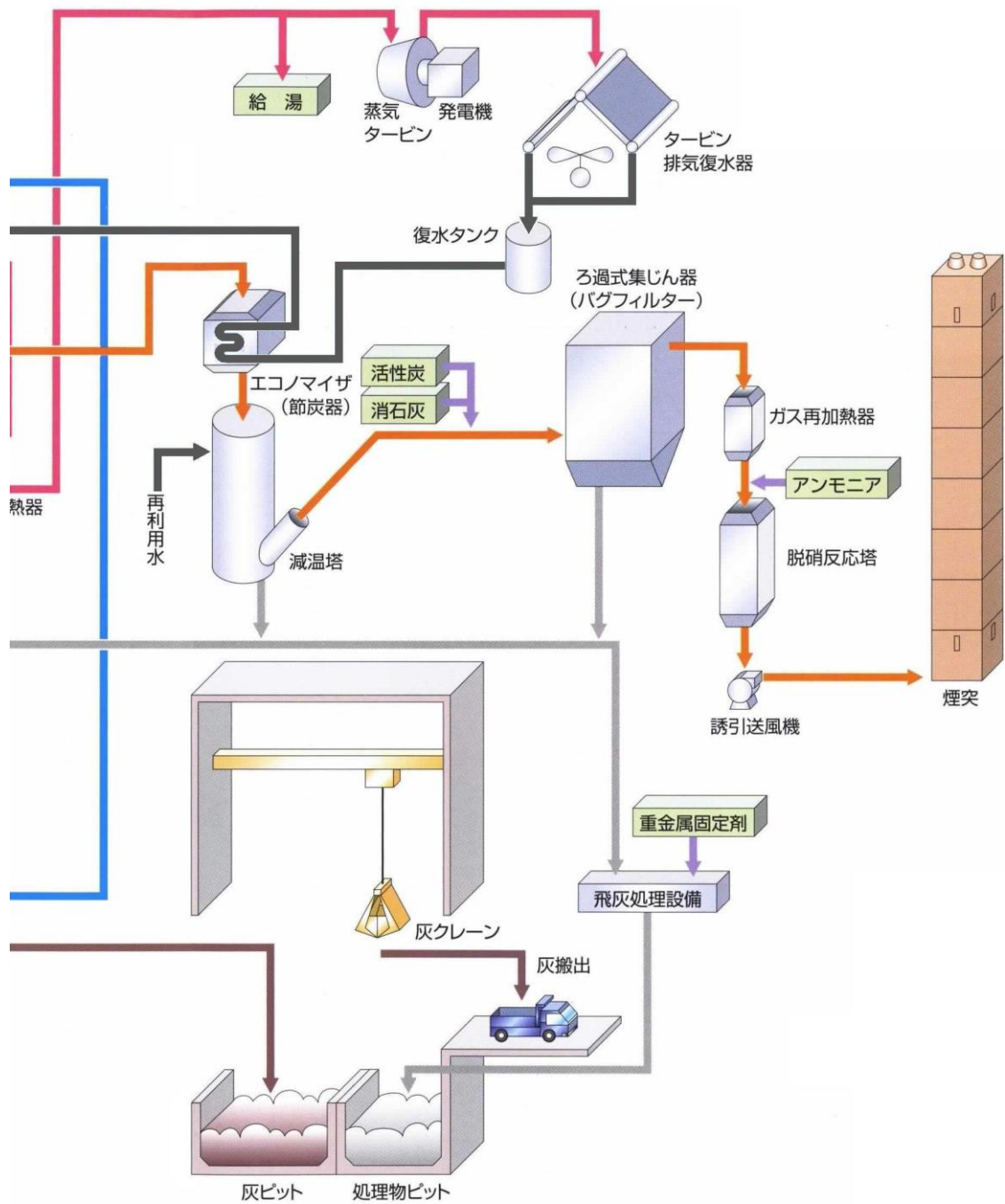


電光表示盤

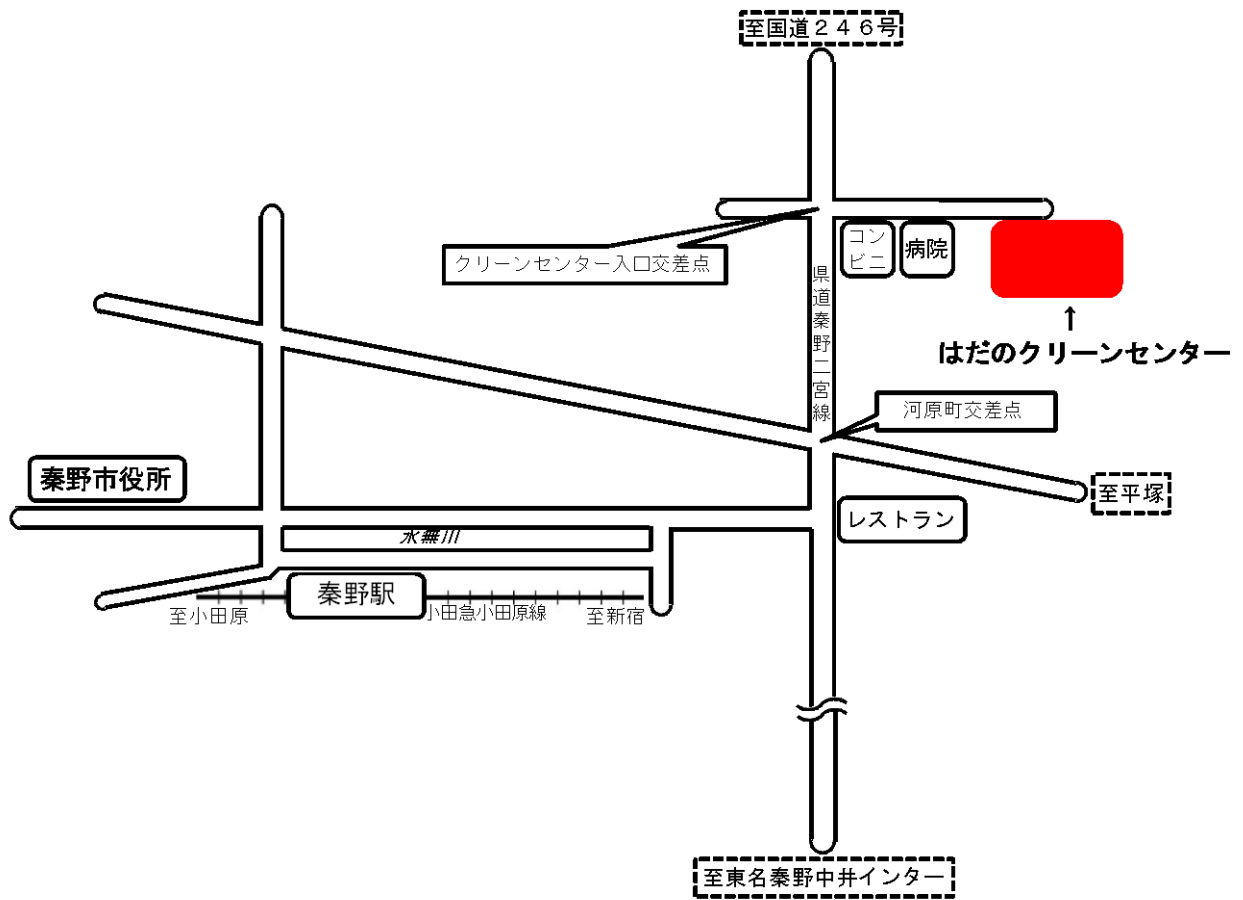


はだのクリーンセンターでのごみ処理フローシート





はだのクリーンセンター 位置図



はだのクリーンセンター 施設配置図



2 伊勢原清掃工場

所在地 伊勢原市三ノ宮1918番地

敷地面積 20,659.86㎡ (登記地積)

(1) 可燃ごみ処理施設

伊勢原市などから排出された可燃(燃やす)ごみは伊勢原清掃工場へ搬入され、90t/日焼却施設で焼却処理をしています。

また、平成12年度にはダイオキシン類の削減対策として、排ガス高度処理及び灰固形化施設を整備し、電気集じん器をろ過式集じん器(バグフィルター)に改造しました。

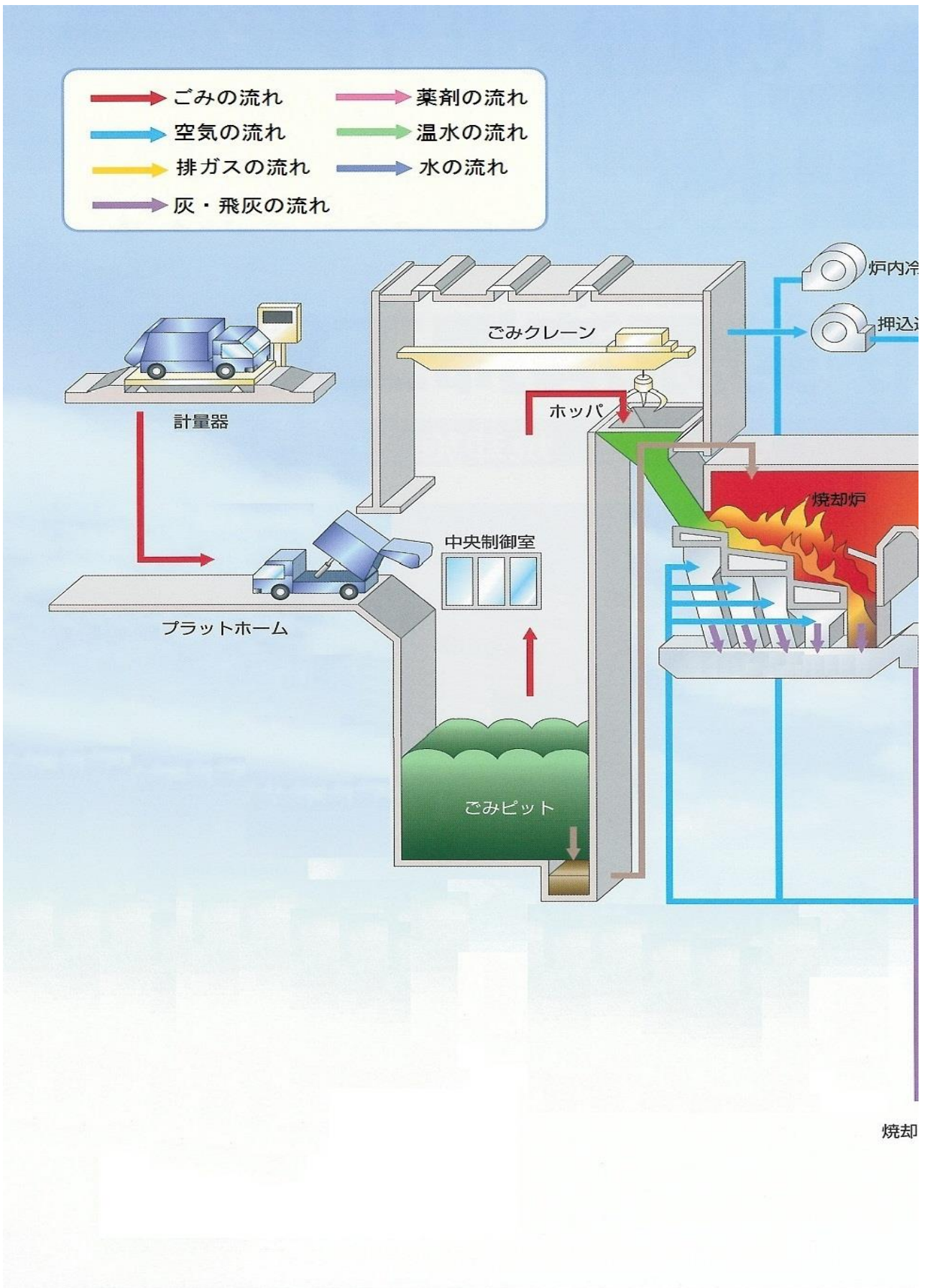
施設の運転や維持管理の業務は、組合直営により行っています。

施設整備状況

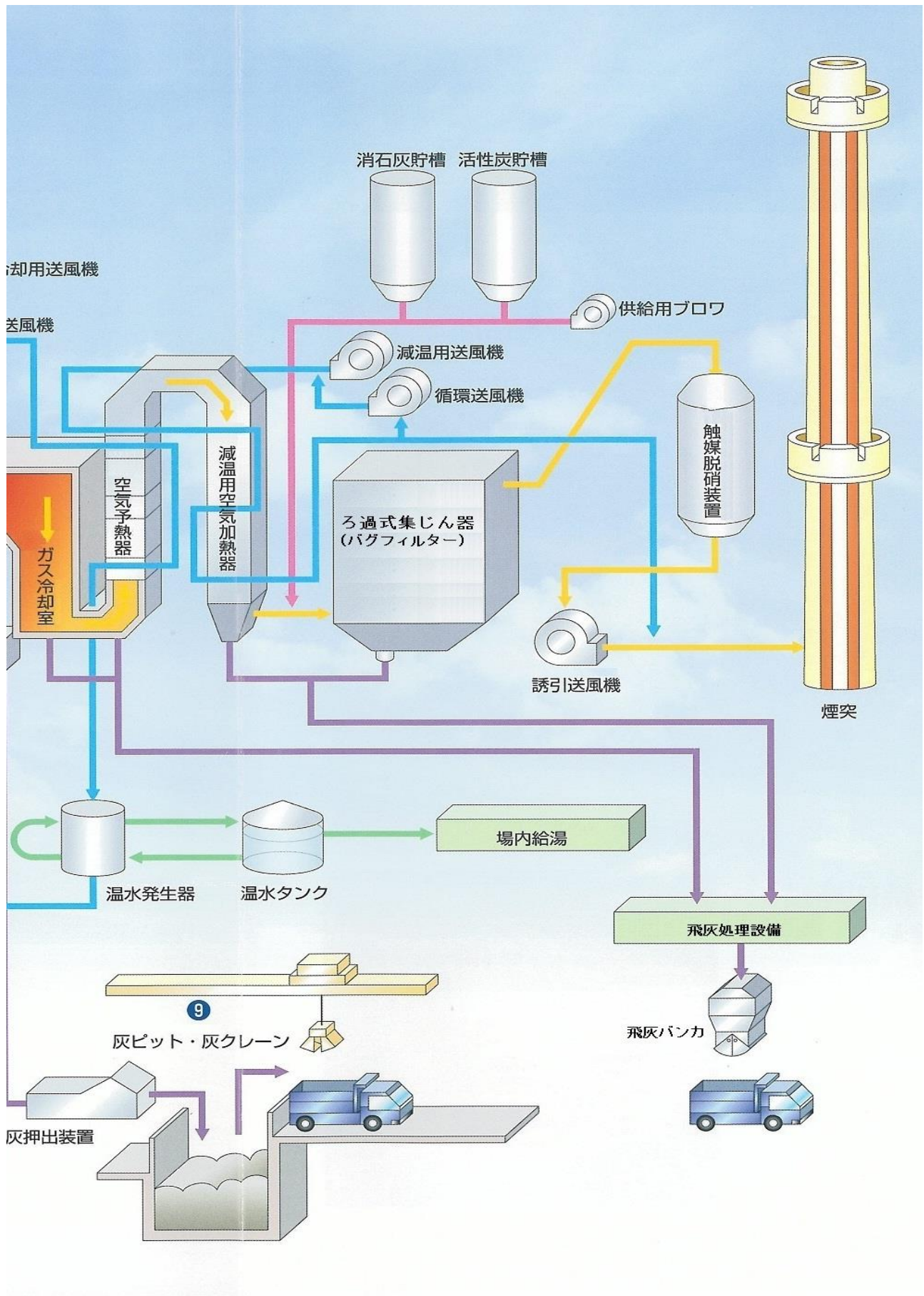
規模	型式	事業費(千円)	整備内容	建設年月日	施工業者
90t/日	ストーカ式 (連続炉)	1,837,916	鉄筋コンクリート造 4階建 延2,614.57㎡ ごみピット 870㎡ 可燃性粗大ごみ破碎設備	S58.2.21) S60.10.31	日立造船株 (機械設備) 奥村・中村建 設共同企業体 (土木・建築)
		整備工事 1,491,000	排ガス高度処理及び灰固形化施設整備 (ダイオキシン類削減対策) 電気集じん器をバグフィルタに改造等	H12.5.30) H13.3.30	日立造船株

90t/日焼却施設





焼却



(2) 粗大ごみ処理施設

秦野市及び伊勢原市から排出された不燃ごみや粗大ごみは、伊勢原清掃工場へ搬入され、粗大ごみ処理施設で選別及び破碎の処理をしています。

選別の際に出た可燃性のものは、はだのクリーンセンターや伊勢原清掃工場90t/日焼却施設で焼却処理し、不燃性のものは手選別で非鉄類を取り除き、破碎処理などを行った後、鉄類と不燃物残渣に分別し、そのほとんどを資源化しています。乾電池や蛍光管などの有害物質を含むものは、資源化を含め適正な処理を行っています。

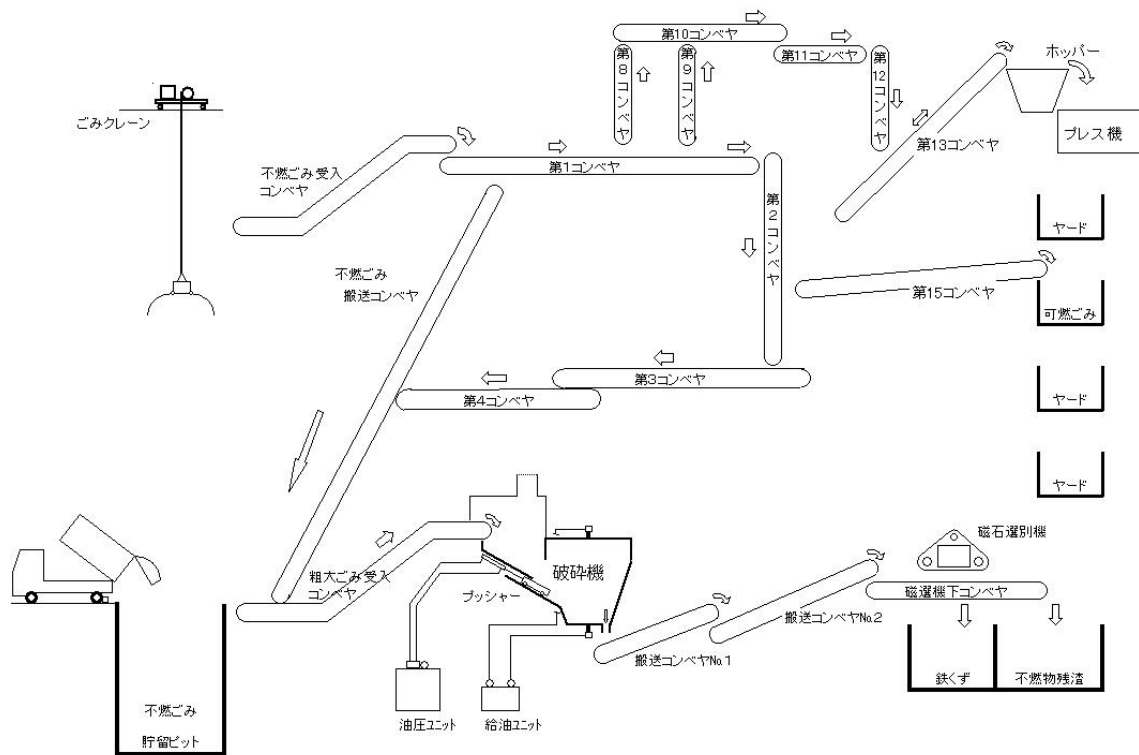
施設整備状況

能力	事業費(千円)	整備内容	建設年月日	施工業者
圧縮設備：12t/5h 併用設備：30t/5h コンベア選別設備 ：8-10t/5h	236,488	鉄骨造 延721.1㎡ (平成7年の増築工事含む) 主要設備 受入供給設備 破碎機 受入等コンベア設備 磁選機等機械設備	S62.6.26) S63.3.20	(株)ジーエス

粗大ごみ処理施設



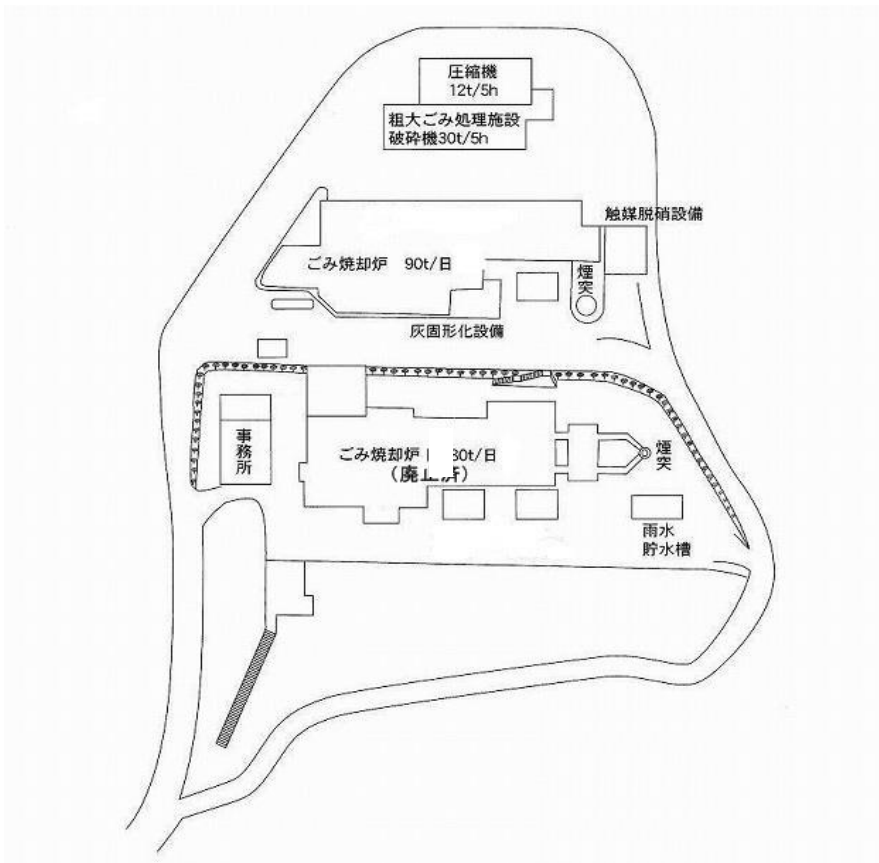
粗大ごみ処理施設の処理フローシート



伊勢原清掃工場 位置図



伊勢原清掃工場 施設配置図



3 栗原一般廃棄物最終処分場

所在地 伊勢原市三ノ宮2854番地
敷地面積 24,370.69㎡

栗原一般廃棄物最終処分場では、はだのクリーンセンターや伊勢原清掃工場90t/日焼却施設で発生した焼却灰を埋立処分しています。平成5年度から一期分の埋立てを開始し、平成11年度からは二期分の埋立てを開始しています。

現在までに、埋立量は全体計画量の8割弱程度の埋立てが完了しています。埋立期限となる平成35年度まで適正かつ計画的な埋立処分を行います。

施設整備状況

建設工事	事業費(千円)	整備内容	建設年月日	施工業者
第一期	644,297	遮水工：合成ゴム＋軟質塩化ビニール 堰堤工：鋼矢板二重締切堰堤 排水管：浸出水配水管等 調整槽：屋内型400m ³ 水処理：凝集沈殿20m ³ /日	H4.1.22) H5.3.25	鹿島建設(株) 横浜支店
第二期	1,417,500	遮水工：合成ゴム＋軟質塩化ビニール 堰堤工：鉄筋コンクリート箱型及び逆T字擁壁 排水管：浸出水配水管等 調整槽：屋内型1,400m ³ 水処理：凝集沈殿50m ³ /日	H9.8.25) H11.3.19	鹿島・中村・ 長島特定建 設工事共同 企業体

※ 用地は借地

埋立面積及び容量

	面積	容量
一期分	4,700 m ²	25,500 m ³
二期分	12,060 m ²	107,000 m ³
変更届出分	—	42,500 m ³
全体計画	16,760 m ²	175,000 m ³

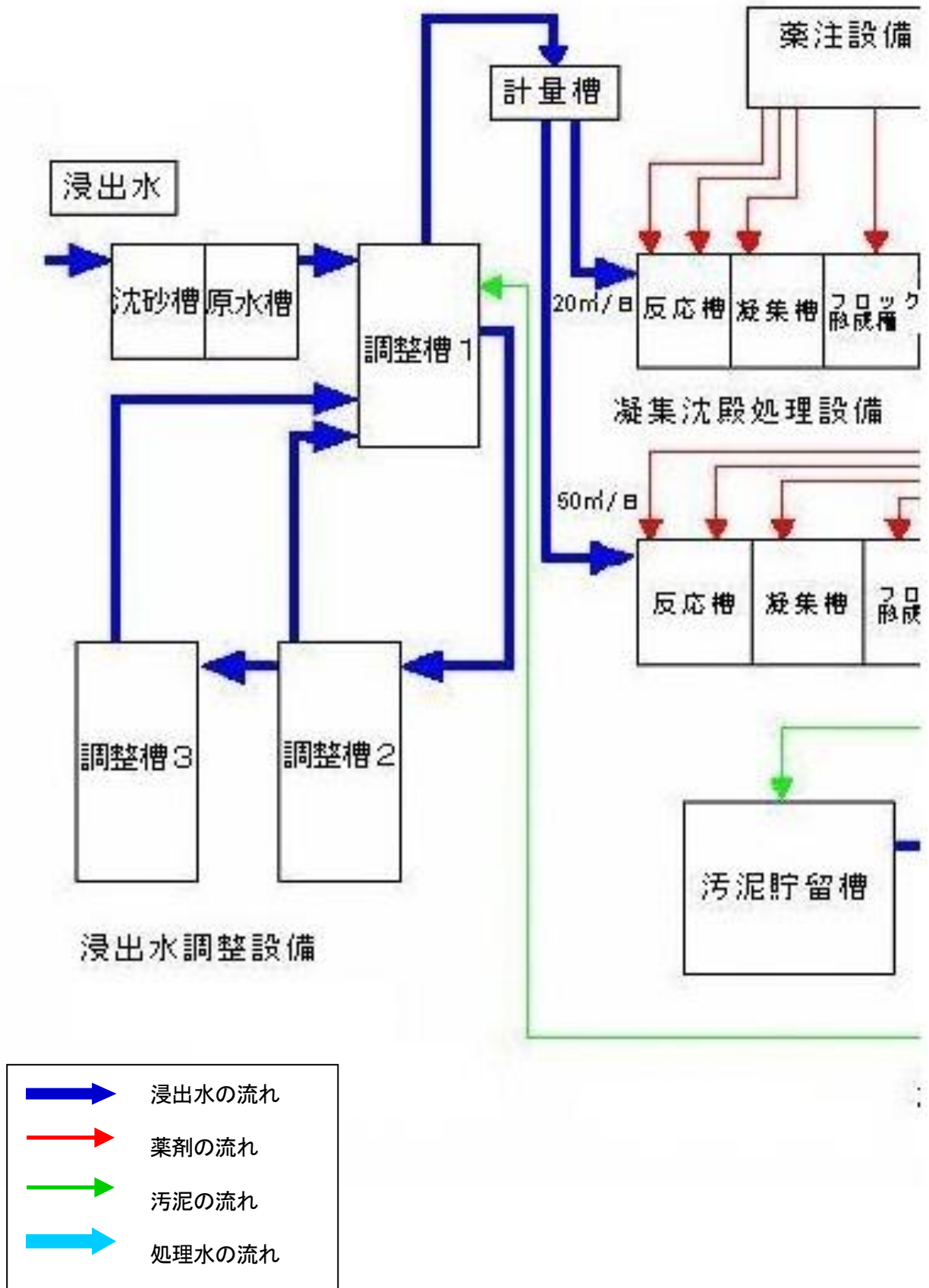
埋立開始年月 平成5年5月

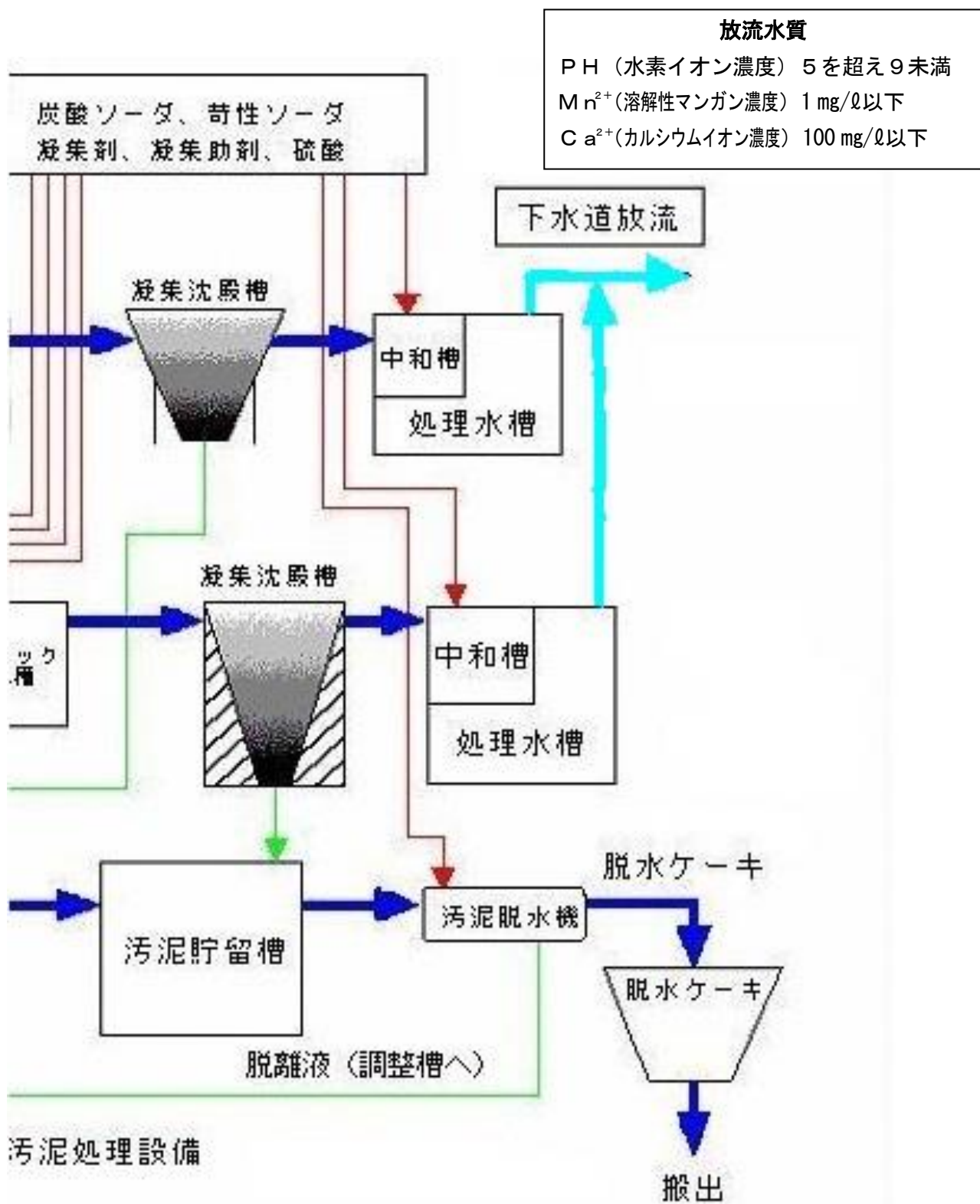
埋立構造・方式 準好気性埋立・セル方式

栗原一般廃棄物最終処分場



浸出水処理施設の処理フローシート





放流水質
 PH (水素イオン濃度) 5 を超え 9 未満
 Mn²⁺ (溶解性マンガン濃度) 1 mg/l 以下
 Ca²⁺ (カルシウムイオン濃度) 100 mg/l 以下

栗原一般廃棄物最終処分場 位置図



葬 祭 施 設

秦野斎場

所在地 秦野市曾屋1006番地
敷地面積 5,544.48㎡（登記地積）

秦野斎場は、秦野市及び伊勢原市の火葬業務を行うため、昭和51年度に3基の火葬炉を備えて稼働しました。その後、平成5年度に火葬炉2基を増設し、現在5基体制（1日当たり17体の火葬が可能）による運営を行っています。

また、将来の火葬需要及び施設の老朽化に対応するため、秦野斎場増築改修工事を進めています。この工事は平成28年11月に着工し、平成30年3月の増築棟の完成、平成31年3月の全体完成を予定しています。

施設整備状況

型式	事業費(千円)	整備内容	建設年月日	施工者
灯油燃焼式 二次燃焼炉	337,738	鉄筋コンクリート造平屋建 本館（火葬炉3炉、炉前室、拾骨室、 遺体安置室、事務室等） 待合棟（待合室3室、機械室、給湯室、 トイレ、化粧室等）	S50.7.1～ S51.8.30	東京博善(株)
灯油燃焼式 二次燃焼炉	21,527	火葬炉2炉増設	H5.7.22～ H5.10.20	高砂炉材 工業(株)
待合室	114,460	増築建物：待合室（2室）、女子化粧室、 歩廊等 改修建物：トイレ、給湯室	H9.9.1～ H10.3.26	(株)関野建設
歩廊改良	9,717	待合棟歩廊部のロビー化 空調、照明設備増設	H19.11.13～ H20.3.7	(株)コラム建設

秦野斎場

外観



待合室



秦野斎場 位置図及び配置図

